

## 金のたまご階段の植栽を更新しました

ご存じのように、当公園はイギリスの童話「ジャックと豆の木」を題材に作られたので、様々な施設がこの物語をイメージした形や名称になっています。金のたまご階段は、上と下に金のたまごを模した飾りや中間部のガゼボという修景施設にはニワトリを形どった風見鶏が付けられています。これらを階段下から一望できるように、両側の植栽は葉張りがなくコニファーと呼ばれる針葉樹が植えられたようです。しかし、年月が経つとズングリした形で大きくになり照明の妨げや通路をふさぐもの、さらに強い風で傾いた状態のものなど様々な支障が生じていました。



植え替え前の状況



植え替え後の状況

植え替えによって、通行や照明の支障が無くなったばかりか、空に昇る童話のイメージが復元されました。また、階段脇に植えられたオウゴンキャラという新芽が黄金色の植栽の全貌が見えるようになりました。黄金色に見える植栽が目立つようになり、樹名の問い合わせも増えました。



植え替えた針葉樹の一般名はコロラドビャクシンというヒノキ科ビャクシン属の植物で、ご家庭で育てられているゴールドクレストの仲間です。

公園内にもこの樹の成木があるのでご存じと思いますが、こずえの先が青くなる園芸品種で、「ブルーヘブン」という名が付けられています。この名前自体からも童話の世界をイメージできる樹種として選ばれたのではないのでしょうか。

針葉樹はハサミで刈り込むと切断面が目立つため、手でもぎるのが最適と

言われています。また、枝を短く切って葉がない状態にすると、その枝には葉が発生しません。そのため、ズングリした太目の形状にならないよう、成長に合わせて手でもぎりながら形を整えることが必要です。成長すると5～6mくらいになりますので、年々手間がかかりそうですが、童話のイメージを保てるよう努力したいと思います。